ダビンチを用いた直腸手術(ロボット支援下直腸切除・切断術)のご案内

直陽癌に対するダビンチを用いたロボット支援下手術について

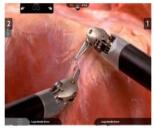
長崎大学病院では2018年4月からの保険改定を受け、直腸癌に対してダビンチを用いたロボット支援下手術を導入しました。同年12月まで安全性に配慮しつつモニタリング下で手術を行ってまいりました。結果、当院で行われたロボット支援下直腸手術の安全性が十分に確認されたことを受け、2019年1月からロボット支援下直腸切除術・切断術の"認定施設"となり、"保険診療"として県民の皆様にこの術式を提供できる環境となりました。

ダビンチを用いた手術の利点とは?

ロボット手術とは、高解像度の立体感を持った画像(3D ビジョン)、2 本の指を持った手関節のような動きができる多関節機能を持った鉗子(図1)、手ぶれ補正機能などを搭載したロボットを用いた手術のことを指し、da-Vinci surgical system(通称:ダビンチ)を用いた手術を指します(図2)。ロボット支援下直腸手術は腹腔鏡手術よりさらに繊細で精密な操作が可能で、肛門機能・神経機能温存率の向上に有用であるとの報告が認められます。

図1







コンソール: 術者が操縦する場所

図2

ダビンチを用いた直腸手術を希望される方は

当科では精度の高い手術であるロボット支援下手術をより多くの患者さんに提供していきたいと考えております。ご希望の患者様はかかりつけ医へ相談され当科へ紹介していただくか、もしくは当院の地域連携支援センターへご相談くださいますようお願い申し上げます。

外来につきましては月曜日・水曜日・金曜日に当科の大腸・肛門外科チームの医師が新患を受け付けています。ご不明な点やご相談などは電話にてご連絡ください。(地域医療センター: 095-819-7930 か 腫瘍外科医局(大腸・肛門外科 野中): 095-819-7304までご相談ください)

